

IV 研修・業績発表

1 学会・研究会及び研修会への出席 (R6. 4~R7. 3)

年 月 日	学会・研究会・研修会の名称	開催地	出席者数
R6. 5. 13	医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (PIC/S)	Web 開催	5
5. 14	医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (PIC/S)	Web 開催	5
5. 23	食品衛生検査施設の適正業務管理基準 (GLP) に関する研修会	Web 開催	14
5. 24	医薬品医療機器の品質確保に関する研修 (PIC/S)	Web 開催	5
8.	全国食品衛生監視員協議会第 64 回関東ブロック研修大会	書面開催	-
9. 6	地域保健推進事業に係る第 1 回関東甲信静ブロック会議・講演会	Web 開催	7
11. 22	アジレントテクノロジー社「GC-MS/MS のメンテナンス研修会」	東京都	1
10. 25	全国食品衛生監視員研修会	東京都	1
10. 31	食品微生物検査実習 (中級 2 日間)	東京都	1
~11. 1			
11. 20	第 61 回全国衛生化学技術協議会年会	堺市	3
~ 21			
12. 20	食品 GLP (ISO17025) に係る研修会	Web 開催	6
R7. 1. 17	地衛研理化学系現場の会	東京都	1
1. 21	医薬品検査 (指定薬物分析) 研修	Web 開催	2
2. 7	地方衛生研究所全国協議会関東甲信静支部理化学部会	長野市	2

2 当所で受け入れた視察、研修

	年 月 日	団 体 名	人 数	目 的
R6.	8. 8	産学官連携による食の安全理解促進事業 (桐生大学)	4	見学・研修
	8. 20	インターンシップ研修(食品・生活衛生 課)	2	見学・研修
	8. 26	インターンシップ研修(薬務課)	2	見学・研修
	8. 28	藤岡保健福祉事務所(食改推)	56	出前講座
	8. 29	群馬県生活協同組合連合会	22	見学・研修
10.	22	産学官連携による食の安全理解促進事業 (高崎健康福祉大学)	40	見学・研修
	10. 29	産学官連携による食の安全理解促進事業 (高崎健康福祉大学)	40	見学・研修
R7.	1. 15	群馬大学医学部保健学科	35	見学・研修
	3. 4	食品衛生管理者登録講習受講者(全国食 肉学校)	42	出張講座

3 紙上・学会等での発表

学会・研修会等

群馬県に流通する加工食品に含まれるアレルギー「くるみ」の実態調査：永井裕美、大島裕之、齋藤美香、加藤由訓、佐藤ゆり恵、関慎太郎、茂木芳美、中村泰三、丸山章代、第 61 回全国衛生化学技術協議会年会、2024 (11 月)

アレルギーを含む食品に関する表示では、消費者庁次長通知「食品表示基準について(平成 27 年 3 月 30 日消食法第 139 号)」により、発症数や重篤度の高い品目が表示義務のある特定原材料に指定され、表示を検証するための検査方法(以下、通知検査法)が示されている。くるみは令和 5 年 3 月に特定原材料に追加され、通知検査法が消費者庁より示された。くるみが収去検査の実施対象となったため、収去検査に対応できるよう準備をする必要がある。そこで、県内に流通している加工食品に含まれるアレルギー「くるみ」の実態を調査したので報告する。

インクリメント縮分法により調製した試料を用いた GC-MS による牛肉の有機塩素系農薬分析法の妥当性評価：岡田智行、小池有理子、庄司正、須藤和久、食品衛生学雑誌、2024 ; 65、95-100

1960 年代に日本で広く使用された DDT などの有機塩素系農薬は現在禁止されているが、分解されにくく脂溶性が高いため環境中や生体内に長期間残留し、人体や環境への影響が懸念される。特に生物濃縮により畜産物へ高濃度で蓄積する可能性があり、継続的な監視が重要である。本研究では、牛肉等を対象に 5 種の農薬を検査し、GPC を用いない前処理法とインクリメント縮分法による試料均一化を検討し、その妥当性を評価した。

「LC/MS による動物用医薬品等の一斉試験法 I (畜水産物)」変法 を用いた鱒、牛肉、豚肉及び鶏肉の妥当性評価試験結果：丹羽祥一、大島裕之、小池有理、平出海鈴、加藤由訓、浦野陽一、関慎太郎、群馬県衛生環境研究所・食品安全検査センター業績発表会、2025 (3 月)

当センターでは「LC/MS による動物用医薬品等

の一斉試験法 I (畜水産物)」に準じた検査法を用いて、残留動物用医薬品試験を行っている。新たに検査法の改変を行い、鱒、牛肉、豚肉及び鶏肉の妥当性評価試験を行ったところ、良好な結果が得られたので報告する。

食品に混入した農薬による有症事案への対応について～地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック模擬訓練事業の試験結果～：岡田智行、野本朋子、藤澤美希、庄司正、群馬県衛生環境研究所・食品安全検査センター業績発表会、2025 (3 月)

地域保健総合推進事業関東甲信静ブロック(令和 6 年度事務局：横浜市)主催の「食品に混入した農薬による有症事案への対応を想定した模擬訓練」に参加し、原因物質の特定及び定量を行った。この訓練を通し、農薬の有症事案への対応について検討したので報告する。